

【改訂】認知症介護実践者②

| 日程          | 時間            | 教科単元名           | 形態                      | 講義・演習のねらい  | 講師  |      |
|-------------|---------------|-----------------|-------------------------|--|---|------|
| 第一日         | 8:40-9:00     | 20分             | 受付開始                    |  |   |      |
|             | 9:00-9:10     | 10分             | 開講式・オリエンテーション           |  |   |      |
|             | Ⅰ、認知症ケアの基本的理解 |                 |                         |  |   |      |
|             | 9:10-12:10    | 180分            | 認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援      | 講義・演習  | 認知症の人が望む生活を実現する為、認知症ケアの歴史の変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。  | 松原宏樹 |
|             | 12:10-13:00   | 50分             | 【昼食・休憩】                 |  |   |      |
|             | 13:00-14:30   | 90分             | 権利擁護の視点に基づく支援           | 講義・演習  | 権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すと共に、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。  | 松原宏樹 |
|             | 14:40-16:40   | 120分            | 地域資源の理解とケアへの活用          | 講義・演習  | 関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。  | 松原宏樹 |
| 16:50-17:20 | 30分           | 職場実習の課題設定（1）    | 講義・演習                   | 認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。   | 松原宏樹  |      |
| 第二日         | 9:00-9:10     | 10分             | 事務連絡                    |  |   |      |
|             | 9:10-12:10    | 180分            | 生活支援のためのケアの演習Ⅰ          | 講義・演習  | 食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。  | 坂本明美 |
|             | 12:10-13:00   | 50分             | 【昼食・休憩】                 |  |   |      |
|             | 13:00-15:00   | 120分            | 生活支援のためのケアの演習Ⅰ          | 講義・演習  | 食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。  | 坂本明美 |
| 15:10-16:10 | 60分           | QOLを高める活動と評価の観点 | 講義・演習                   | 認知症の人の心理的安定やQOL(生活・人生の質)向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。  | 坂本明美  |      |
| 第三日         | 9:00-9:10     | 10分             | 事務連絡                    |  |   |      |
|             | 9:10-10:40    | 90分             | 家族介護者の理解と支援方法           | 講義・演習  | 在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。  | 松原宏樹 |
|             | 10:50-11:50   | 60分             | 学習成果の実践展開と共有            | 講義・演習  | 認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気付きや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取組の方向性を検討し、他の受講生と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を獲得。 | 松原宏樹 |
|             | 11:50-12:40   | 50分             | 【昼食・休憩】                 |  |   |      |
| 12:40-17:40 | 300分          | アセスメントとケアの実践の基本 | 講義・演習                   | 認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。 | 松原宏樹  |      |
| 第四日         | 9:00-9:10     | 10分             | 事務連絡                    |  |   |      |
|             | 9:10-12:10    | 180分            | 生活支援のためのケアの演習Ⅱ（行動・心理症状） | 講義・演習  | 認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。   | 松原宏樹 |
|             | 12:10-13:00   | 50分             | 【昼食・休憩】                 |  |   |      |
|             | 13:00-14:00   | 60分             | 生活支援のためのケアの演習Ⅱ（行動・心理症状） | 講義・演習  | 認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。   | 松原宏樹 |
| 14:10-17:40 | 210分          | 職場実習の課題設定（2）    | 講義・演習                   | 認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。   | 松原宏樹<br>楠本美香<br>城山いづみ   |      |
|             |               |                 | 職場実習（アセスメントとケアの実践） 4週   | 実習   | 研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。  |      |
| 第五日         | 9:00-9:10     | 10分             | 事務連絡                    |  |   |      |
|             | 9:10-12:10    | 180分            | 職場実習評価                  | 講義・演習  | アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。   | 松原宏樹 |
|             | 12:10-12:30   | 20分             | 閉講式                     |  |   |      |